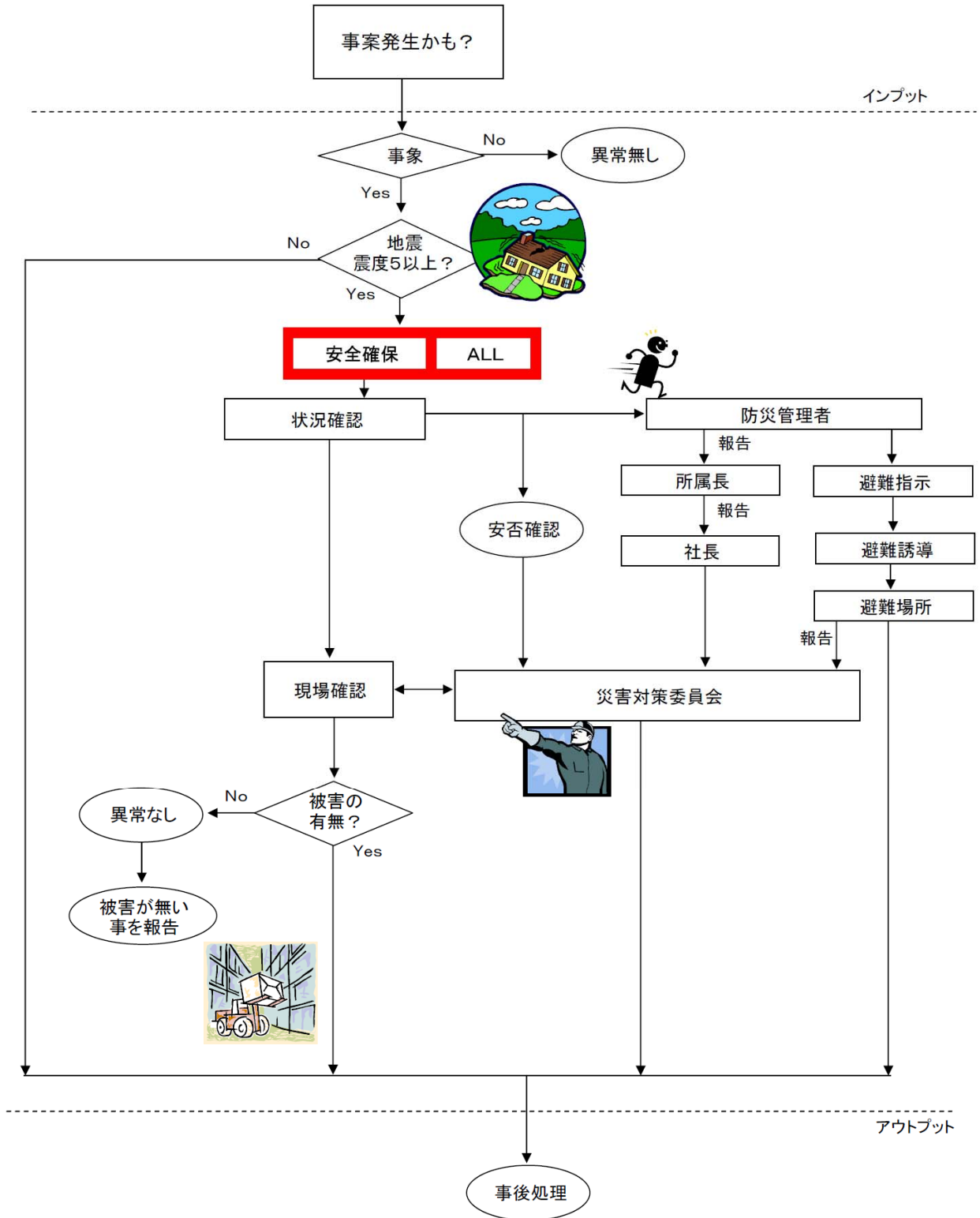


32) 地震発生時対応 フロー

2009/9/29





Key Point

- 地震発生時の対応フローについて
- 安全確保のポイント
- 営業所ごとの避難場所について

地震発生時の対応フローについて

火災と違って発生を防げないのが「地震」です。大きな地震(震度5以上が目安)が発生した場合、何より先で何より重要なのが、「安全確保」になります。就業時間中に地震が発生した場合はまず身近な場所で一時的な安全確保をし、揺れがおさまるのを待った上で、本格的な安全確保のために避難をしてください。その上で部下は上長に安全確保の連絡をし、上長は部下の確認をして、【災害対策携帯カード】に記載されている「災害対策本部の連絡先」に連絡をしてください。また地震は火災という二次災害を生みやすく、発生した場合は「火災発生時対応フロー」に沿って行動する必要があります。

安全確保のポイント

地震は一般的に、「前震～本震～余震」という流れで起こります。大きめの前震を感じたら、まずは机の下に隠れる、ヘルメットをかぶるなどして、「頭部の保護」を優先してください。倉庫内は落下物の危険が特にありますので、ラックの近くにいた場合などはすみやかにその場を離れてください。まず意識するのは落下物から頭部を守ることです。その上で、所定の避難場所へと「あわてず、冷静に、すみやかに」移動をしてください。社員同士で声を掛け合い、走るのが遅い者を優先させるなど助け合って、全員の安全確保を進めてください。

32-1報・連・相がきちんとできる／32-2大きな声が出せる／32-3非常口、消火器、消火栓、非常ベルの設置場所を把握している／
32-4電話の使用方法を知っている／32-5携帯メールができる／32-6緊急時の電話番号を知っている／32-7フローを理解している／
32-8社内危険箇所を知っている／32-9安全確保、落下物に対する防護方法を知っている

32 地震発生時対応フロー(安全確保)

1. 地震発生時のポイント

ALL

■ 営業所ごとの避難場所について

各営業所には、自治体によって定められた「避難場所」があります。【災害対策携帯カード】にも記載されていますが、自分の所属先の避難場所および道順は覚えておくようお願いします。

営業所	災害時営業所別避難場所	住所
本社	荒川河川敷A	板橋区舟渡2丁目付近
	浮間公園	板橋区舟渡2-15-1
戸田営業所	笹目小学校	戸田市笹目6-9-1
	笹目公園	戸田市笹目7-1-1
市川営業所	行徳高校	市川市塩浜4-1-1
	塩浜小学校	市川市塩浜4-5-1
	塩浜中学校	市川市塩浜4-6-1
土浦営業所	都和小学校	土浦市並木5-4826-1

32-1報・連・相がきちんとできる／32-2大きな声が出せる／32-3非常口、消火器、消火栓、非常ベルの設置場所を把握している／
32-4電話の使用方法を知っている／32-5携帯メールができる／32-6緊急時の電話番号を知っている／32-7フローを理解している／
32-8社内危険箇所を知っている／32-9安全確保、落下物に対する防護方法を知っている

32 地震発生時対応フロー(安全確保)